

IT駆動型微生物工学研究部会 – シンポジウム『網羅情報に基づく細胞システムの理解とバイオ産業への展開 – システムバイオロジーの現状と課題、そして今後 –』 | 1

IT駆動型微生物工学研究部会では2008年度日本生物工学会大会でシンポジウム『網羅情報に基づく細胞システムの理解とバイオ産業への展開 – システムバイオロジーの現状と課題、そして今後 –』を協賛しました。

日時：2008年8月28日 日本生物工学会 第60回大会2日目 13：30～17:00

会場：東北学院大学土樋キャンパス S1会場

プログラム

- 13:30 はじめに

.....小川 亜希子（鈴鹿高専・生応）

座長：高木 睦（北大院・工）

- 13:35 2S1p01 システム生物学の現状と展望

.....○花井 泰三（九大院・農）

- 14:15 2S1p02 レクチンアレイによる比較糖鎖プロファイリングとその応用展開

.....○久野 敦（産総研・糖鎖医工学研究センター）

座長：幡多 徳彦（森下仁丹）

- 14:55 2S1p03 シグナル伝達系のネットワーク構造と細胞運命 ウェットとドライのクロストーク

.....○佐伯 夕子, 畠山 真里子（理研・基幹研・細胞システムモデル化チーム）

- 15:35 2S1p04 マテリアルとバイオをインターフェイスするペプチドアプタマー

.....○佐野 健一^{1,2}, 芝 清隆²（¹理研・基幹研・分子情報生命科学特別研究ユニット, ²癌研・蛋白創製）

座長：井藤 彰（九大院・工）

- 16:15 2S1p05 システムバイオロジー時代の細胞解析技術

.....○三宅 正人（産総研・セルエンジニアリング）

- 16:55 おわりに

.....吉川 智啓（サイトパスファインダー）

IT駆動型微生物工学研究部会 – シンポジウム『網羅情報に基づく細胞システムの理解とバイオ産業への展開 – システムバイオロジーの現状と課題、そして今後 –』 | 2

[▶IT駆動型微生物工学研究部会Topへ](#)